

4 酸性雨の状況（酸性雨等モニタリング調査結果）

東アジア地域では、大気汚染等の深刻な環境問題を抱えつつ経済が急速に発展しており、酸性雨を含む越境大気汚染とその影響が懸念されています。市では酸性雨の実態を把握するため、継続的にモニタリング調査を実施しています。

1 調査方法の概要

(1) 測定期間 令和7年4月～令和8年3月

(2) 実施機関 郡山市環境保全センター

(3) 調査地点

朝日：郡山市環境保全センター

堀口：郡山市上下水道局 堀口浄水場屋上

(4) 調査内容

pH、降水量、陽イオン、陰イオン

2 調査結果の概要

酸性雨とは、狭義には pH5.6 以下の雨のことですが、令和7年度の pH 平均値は朝日で 5.3、堀口で 5.1 でした（表1）。図1に地点ごとのイオン成分沈着量、表2及び図2に pH 平均値の推移を示しました。

表1 ろ過式酸性雨採取による調査結果

調査地点	年間降水量 (mm/年)	pH の年間平均値	年間沈着量 (単位: meq/m ² /年、※1)											
			H ⁺	SO ₄ ²⁻	NO ₃ ⁻	Cl ⁻	Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Mg ²⁺	NH ₄ ⁺	Total-ion	nss-SO ₄ ²⁻ (※2)	nss-Ca ²⁺
朝日	811.3	5.3	3.9	10.6	7.7	11.6	10.4	1.2	9.5	3.7	11.7	70.3	9.4	9.0
堀口	1145.9	5.1	9.9	16.3	11.7	20.1	18.5	1.6	7.6	5.8	10.5	102.0	13.3	6.5

※1 「1平方メートルの面積に1年間でどれだけのイオン（物質）が降下したか」を示す単位

※2 非海塩由来イオン（「nss-」は non-（非） sea（海） salt（塩）。海面から風に乗って運ばれてきた量（非人為的な量）を差し引いた人為由来のイオン量

図1 ろ過式酸性雨採取による調査結果(地点別)

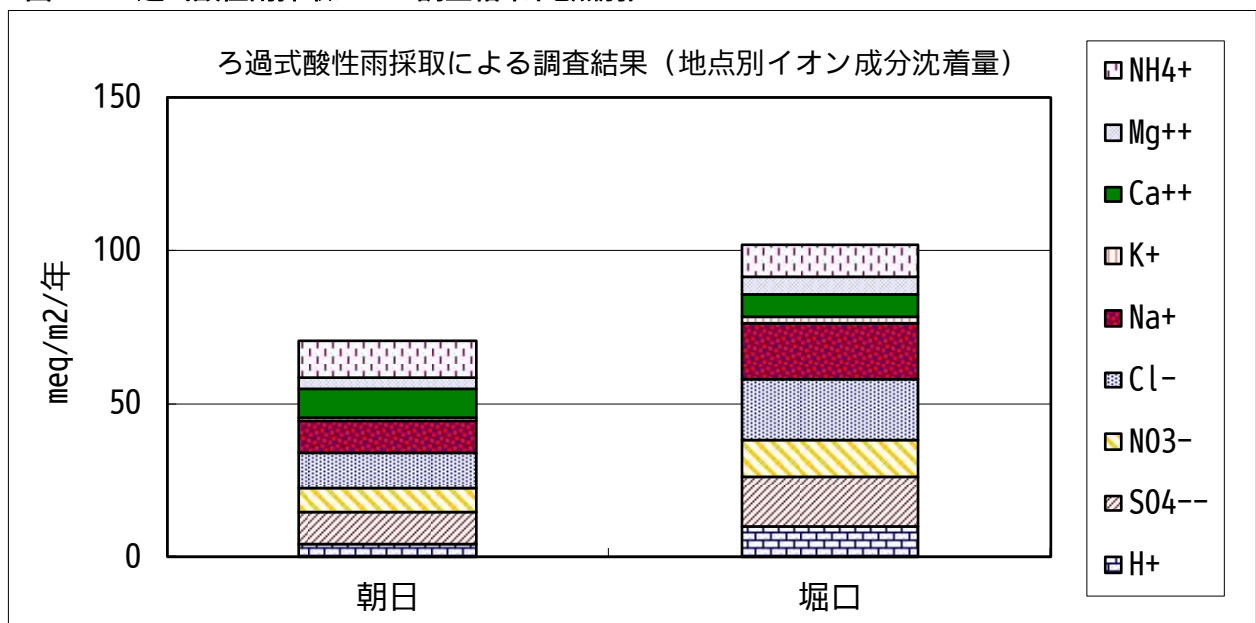


表2 酸性雨のpH平均値の推移

年度 調査地点	26	27	28	29	30	31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
朝日	5.1	5.1	—	5.2	5.3	5.1	5.2	5.2	5.4	5.2	5.2	5.3
堀口	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9	5.0	5.0	5.0	5.1	5.0	5.0	5.1

図2 酸性雨のpH平均値の推移

